

鉄系部品に命を吹き込む 熱処理と脱炭素

自動車業界では「2050年CO2排出量ゼロ」に向け、鉄系部品の熱処理などのエネルギー多消費工程の効率改善が喫緊の課題です。その上依然として自動車メーカーからは高品質・安定供給を求められています。

本セミナーでは鳥取県金属熱処理協業組合の全面協力により、熱処理について講演および製造ラインからの現地レポートをお届けします。

参加費無料

オンライン配信

開催日時：

9月28日（水）13:30~15:30

配信方法：

Cisco Webex

対象企業：

- 自社加工製品に熱処理をされている企業
- 鳥取県金属熱処理協業組合の技術を活用して新たな受注を獲得されたい企業
- 熱処理の種類を知りたい企業



基調講演 <13:30~14:15>

熱処理の種類と熱処理コンテスト秘話

鳥取県熱処理協業組合 専務理事 馬田 秀文 氏

熱処理の基礎及び代表的な熱処理方法（浸炭焼入れ、高周波焼入れ、真空熱処理、窒化処理）の特徴など、利用に際しての注意点から始まり、日本熱処理技術協会中部支部主催の熱処理コンテストで大手自動車メーカー等の強豪を押しのか、優勝された技術の一部を紹介しします。



話題提供 <14:15~14:45>

高周波誘導加熱による超短時間加熱とその効果

鳥取県産業技術センター
主任研究員 佐藤 崇弘

脱炭素、SDGs等の環境低負荷思考の高まりから、従来の浸炭焼入れよりエネルギー使用量の少ない高周波誘導加熱へ移行が進み、熱処理を行う部材はより小型で薄肉のものが増えています。鳥取県金属熱処理協業組合と共同研究で実施した超短時間加熱の概要とその効果について紹介しします。



現地レポート <15:00~15:30>

高周波誘導加熱ラインから
金属熱処理技能士による実演

鳥取県熱処理協業組合
工場長 生田 智章 氏
係長 福江 智輝 氏

様々な形状・材質の高周波誘導加熱を行うには、その場で瞬時に条件を見極める必要があります。この実演では熱処理条件の決定に重要な火色の判定を、サーモグラフィによる計測値と1級技能士による目視値の比較実験を行います。



とりねっ

鳥取県金属熱処理協業組合

1980年鳥取県工業試験場内で操業開始。
山陰で唯一の総合熱処理事業所。



とりねっ詳細はこちら

組合員	57社（出資金2000万円）
従業員	34名（技術者の90%以上が熱処理技能士）
加工料収入	505百万円（2021年度）
顧客数	800社以上
認証取得	ISO9001、ISO14001、ISO45001、JISQ9100
主要製品	真空熱処理、浸炭熱処理、高周波熱処理、窒化处理
特色	鳥取県内内唯一の金属熱処理加工事業所。 金属熱処理は機械金属製品に必要な強度や硬さ、靱性などの機械的性質を付与する極めて重要な工程で自動車、航空機、建設機械機の部品や金型にも適用されています。

申込方法

申込期限：9月26日まで

- ・センターHP内、申込フォームをご利用ください。

鳥取県産業技術センター 講習会

検索

こちらのQRコードから
アクセスできます。



- ・その他、メールかFAXで以下の内容をお送りください。

メール tiit-info4@tiit.or.jp

FAX 0859-37-1823

- 参加申込書 -

企業名		
所在地	(〒 -)	
電話	() -	
参加者①	名 前	
	所属・役職	
	E-mail	
参加者②	名 前	
	所属・役職	
	E-mail	

【お問い合わせ先】

鳥取県産業技術センター 機械素材研究所 佐藤

TEL 0859-37-1811